



## 良太さんの新長ねぎ



山倉家の中心として、朝から晩まで働く良太さん。農作業の傍らに筋トレもし、体作りを怠りません。



長ねぎは栽培に手間がかかるのも特徴。春から収穫までに、追肥&土寄せを6回ほど行います。



夏ねぎは身がぎゅっと引き締まり、香りが強く食欲をそそります。

★肥料を工夫し、酵素も使って育てました  
今年も新長ねぎの季節がやってきました。暑いこの時期に長ねぎを出す農家は多く無いのですが、なるべく早くみんなに食べてもらいたいと、今年も良太さんが手間暇かけて育ててきました。

長ねぎは栽培期間がとても長い作物。11月に種を蒔き、3月頃に苗を植え、夏によく出荷となります。特に苗を植えてからは、草取りはもちろん白い部分を長くするために追肥と土寄せを何回も行わなければなりません。さらに、このところ千葉県の夏は干ばつで雨が降らず、生育も遅れがちだったので、良太さんは今年は例年より種まきを3週間ほど、また苗の植え付けを半月ほど早く行いました。その結果、昨年より生育も良く、いつもより早く出荷開始となりました。また、もっと良く出来ないかを考え色々調べた結果、今年はリン酸が多いグアノという肥料をお酢で溶いて株下に撒いて生育を促進し、更に酵素を葉っぱに散布することで葉っぱから栄養を吸収させて長ねぎの細胞を活性化させるなど、新たなチャレンジを試みています。

堆肥、蛎殻石灰、有機配合肥料で整った畑、草抜きや水まきなどの労力、そしてもっと良いものにしたいという思いで育ててきた長ねぎ。今の暑い時期の長ねぎは夏ねぎとも呼ばれ、食欲を増進したり疲労回復効果などがあります。身がぎゅっと締まっているので香りも強く、シャキシャキして薬味にも炒め物にも何にでもあいますよ。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

### 【産地情報】

◎人参は収穫量に対し注文量が多いため、申し訳ありませんが今後は大量注文はお受け出来ません。

◎トマトが終了となりました。空心菜は23日（土）から出荷再開予定です。また、小玉スイカは今月内で終了予定です。